

茅ヶ崎市・寒川町広域連携施策推進計画書

掲載事業 平成26年度事業報告書

【分類】

1 住民サービスの向上 2 事務の効率化 3 市町相互の組織強化

1-1	大学と連携した講座の合同開催	1 頁
1-2	生涯学習指導者研修の合同開催	2 頁
1-3	歴史・文化財等普及事業	3 頁
1-4	1市1町共通の社会教育講座の開設	4 頁
1-5	スポーツ・健康イベントの開催	5 頁
1-6	野外体育施設の相互利用	6 頁
1-7	児童・生徒間交流の実施	7 頁
1-8	(仮称)河童徳利公園整備に関する取組	8 頁
別紙	「(仮称)河童徳利広場イメージ図」	8-2 頁
1-9	ツイッターの共同活用、ホームページの バナー相互掲載等情報発信力の強化	9 頁
1-10	JR相模線を活用した広報活動	10 頁
2-1	広域連携制度に関する調査研究	11 頁
3-1	職員の人事交流の実施	12 頁
3-2	職員合同研修の実施	13 頁
3-3	福利厚生事業の合同実施	14 頁
3-4	教職員の人事交流の実施	15 頁

平成27年3月

茅ヶ崎市・寒川町広域連携事業 平成26年度事業報告書

事務事業名		1-1 大学と連携した講座の合同開催
担当課	茅ヶ崎市	文化生涯学習課
	寒川町	協働文化推進課
今年度の取組概要		各市町住民の講座相互利用
上半期の取組		平成26年5月30日の第1回合同分科会にて各市町の例年の事業実施状況の説明。今年度は連携体制として、①相互の住民が参加可能、②チラシやホームページで周知、③受付は実施主体で行うことを調整。 茅ヶ崎市主催の立正大学デリバリーカレッジ（5～6月開催）と文教大学公開講座（10～11月開催）を寒川町のホームページ掲載と公共施設にチラシの配架。
下半期の取組		・茅ヶ崎市主催の「文教大学公開講座」（10月～12月・全6回）開催。 ・寒川町主催の「文教大学出張講座」（2月・全2回）開催。
現状の取組	効果	茅ヶ崎市での立正大学デリバリーカレッジの開催周知を寒川町ホームページ掲載、公共施設へのチラシの配架を行った。
	課題	連携事業について、双方の参加者が増えるよう検討する必要がある
来年度の取組		・今年度の双方の講座への各市町の参加者の状況を踏まえ、合同事業の検討を行う。
事業費	今年度	・10～11月全6回 委託料（文教大学公開講座）392,000円（茅ヶ崎市執行済） ・2月 講師謝礼 50,000円（25,000円×2回・寒川町執行済）
	来年度	・委託料（文教大学公開講座）392,000円（10～11月全6回・茅ヶ崎市） ・講師謝礼 75,000円（25,000円×3回・寒川町）
その他		

茅ヶ崎市・寒川町広域連携事業 平成26年度事業報告書

事務事業名		1-2 生涯学習指導者研修の合同開催
担当課	茅ヶ崎市	文化生涯学習課
	寒川町	協働文化推進課
今年度の取組概要		研修会を実施し、各市町住民の研修相互利用を行う。
上半期の取組		平成26年5月30日の第1回合同分科会にて各市町の例年の事業実施状況の説明。今年度は連携体制として、①相互の住民が参加可能、②チラシやホームページで周知、③受付は実施主体で行うことを調整。
下半期の取組		1月8日に支援者向けの講座として実施済（茅ヶ崎市） 3月25日に生涯学習支援者研修を実施予定（寒川町）
現状の取組	効果	平成26年5月30日の第1回合同分科会にて各市町の例年の事業実施状況や今年度の連携体制を確認した。
	課題	広域で行うことにより、研修の回数が減ったり、会場が遠くなる等参加者の利便を損なわないために、研修会の開催方法等を調整する必要がある。
来年度の取組		今年度の実績及び課題を踏まえ、実施に向けて調整を図る。
事業費	今年度	研修会講師謝礼 30,000円（寒川町3月執行予定） ※ 茅ヶ崎市が実施した支援者向けの講座は、職員が講師を務めたため事業費の発生はなし
	来年度	研修会講師謝礼 40,000円（茅ヶ崎市） 研修会講師謝礼 20,000円（寒川町）
その他		

茅ヶ崎市・寒川町広域連携事業 平成26年度事業報告書

事務事業名		1-3 歴史・文化財等普及事業
担当課	茅ヶ崎市	社会教育課
	寒川町	教育総務課、文書館
今年度の取組概要		対象項目調査、講座の実施
上半期の取組		寒川町文化財学習センターにおいて、下寺尾官衙遺跡群に関する連続講座（全3回）を実施。
下半期の取組		来年度以降の講座等の実施に向けた打ち合わせ。 上記の講座の講演録を『寒川町史研究』に掲載予定。
現状の取組	効果	今年度開催した講座は各回定員30名のところ、各回とも参加者が上回り、合計102名の参加があり、好評であった。また、他市町村からの参加や、観光協会の協力、また茅ヶ崎市の保存団体等の参加もあり普及啓発の輪の広がりをみせた。
	課題	概ね高評価であったので、今回限りの講座とせず連携を続けていきたい。
来年度の取組		寒川文書館・茅ヶ崎市資料館で浜降祭をテーマにした資料展と講演会を開催。 寒川町文化財学習センターにおいて下寺尾官衙遺跡群等周辺遺跡関連の講座の実施。
事業費	今年度	なし
	来年度	資料展、講座等の実施費用 194,000円 ※市町村振興協会助成金の活用を想定
その他		

茅ヶ崎市・寒川町広域連携事業 平成26年度事業報告書

事務事業名		1-4 1市1町共通の社会教育講座の開設
担当課	茅ヶ崎市	社会教育課
	寒川町	教育総務課、町民センター
今年度の取組概要		地域課題や社会的課題、住民ニーズなどの学習課題を調査研究し、課題解決へ繋がる講座企画を行う。
上半期の取組		各市町において、地域課題や社会的課題、住民ニーズなどの学習課題について調査研究を行った。(6～9月)
下半期の取組		<ul style="list-style-type: none"> ・1市1町の共通の学習課題を抽出(10～12月) ・講座テーマ等開催内容の決定(1月～3月)
現状の取組	効果	・各市町の地域課題や社会的課題、住民ニーズなどの学習課題について相互に認識することができた。
	課題	・講座のテーマとなる課題について、寒川町と茅ヶ崎市との共通の課題設定が難しい。
来年度の取組		・講座実施
経費	今年度	なし
	来年度	講座講師謝礼等講座開催経費【新規】 費用未定(15万円程度) ※市町村振興協会助成金の活用を想定
その他		・問題解決へ繋げる講座というのは、ワークショップ等により参加者が話し合いを行い解決策を導く必要があるが、それぞれ地域により状況が異なり共通の解決策を導くのは難しいと考えられる。まずは課題・ニーズに対する学習機会の提供のための講座開催を目指す。

茅ヶ崎市・寒川町広域連携事業 平成26年度事業報告書

事務事業名		1-5 スポーツ・健康イベントの開催
担当課	茅ヶ崎市	スポーツ健康課
	寒川町	健康・スポーツ課
今年度の取組概要		各市町の住民を対象としたイベントにおいて、各々提供できるイベント、講座の洗い出しを行い、住民の更なる参加機会の充実を図るため、参加対象者を茅ヶ崎市、寒川町在住・在勤・在学まで拡大して開催する。
上半期の取組		分科会を開催し、さむかわスポーツデイ・茅ヶ崎市新体力テスト及び歯周病予防講演会のイベントについて、両市町の広報紙、ホームページへの掲載、チラシの窓口配布により参加呼びかけを行った。
下半期の取組		両市町のスポーツイベント等での住民に対する告知、参加呼びかけの実施。
現状の取組	効果	1市1町の住民の健康増進と地域交流が図られるとともに、両市町の住民のスポーツをする機会や健康について学習する機会が増えた。
	課題	年度当初予定していたイベントの情報が交換できなかったものがあった。担当者相互の連絡を密にし、両市町のイベント情報を共有することが必要である。
来年度の取組		今年度実施したイベント以外の催しについても連携できるか可能性を探るとともに、両市町のより多くの住民の方に参加をいただけるように、周知啓発を充実する。
事業費	今年度	なし（両市町の広報紙やホームページへのイベント情報掲載のみのため）
	来年度	なし（両市町の広報紙やホームページへのイベント情報掲載のみのため）
その他		

茅ヶ崎市・寒川町広域連携事業 平成26年度事業報告書

事務事業名		1-6 野外体育施設の相互利用
担当課	茅ヶ崎市	スポーツ健康課
	寒川町	健康・スポーツ課
今年度の取組概要		1市1町の団体が、相互の野外体育施設を利用出来る環境を整えるための検討を行う。
上半期の取組		対象施設の洗出し及び予約システムの運用状況等、現状の整理を行った。また、2市1町の湘南広域都市行政協議会で検討した課題の再確認を行った。
下半期の取組		<ul style="list-style-type: none"> ・専用利用の対象となる施設の検討。 ・運用面での課題等の洗出し。 ・実際に運用を行った場合の効果、課題等の検討。
現状の取組	効果	市町に存在する野外体育施設及びその運用状況等を把握することができた。
	課題	地元住民を優先とする施設の性格や元々ニーズの高い土日の取り扱いなどの運用状況、予約システムが異なることをクリアするための検討。
来年度の取組		今年度の検討結果を踏まえて、野外体育施設の専用利用について一定の方向性を示す。
事業費	今年度	なし
	来年度	なし
その他		

茅ヶ崎市・寒川町広域連携事業 平成26年度事業報告書

事務事業名		1-7 児童・生徒間交流の実施
担当課	茅ヶ崎市	学校教育指導課
	寒川町	学校教育課
今年度の取組概要		1市1町の枠組みでの児童・生徒の交流について、学校の意見も取り入れながら、具体的な実施方法等について検討する。
上半期の取組		<ul style="list-style-type: none"> ・分科会を開催し、児童・生徒の交流についてテーマの検討（5月29日） ・児童・生徒間の交流として考えられる事業を検討（6～7月） ・分科会を開催し、交流のテーマ、方法、対象校種（小学校を中心）について検討（8月12日） ・各市町の校長会において、広域連携の趣旨・概要の説明と協力について依頼（9月初旬）
下半期の取組		<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度の交流実施に向けた対象、方法を整理。（10～11月） ・学校に意見を聞きながら、具体的な実施方法をまとめる（1月～3月）
現状の取組	効果	<ul style="list-style-type: none"> ・交流が可能または可能性がある事業について検討することで、現在の各事業の成果を再認識することができた。 ・児童・生徒の社会性や豊かな人間性を育むための可能性を新たな視点から考えることができた。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・交流の方法として、小学校を対象として児童の交流若しくは成果物等の交流という実施方法で調整を進めているが、市町の学校を含む最終的な合意や対象校の選定を行う必要がある。
来年度の取組		<ul style="list-style-type: none"> ・実施方法や対象校等具体的な内容を決定する。 ・小学校を中心に交流事業を実施
経費	今年度	なし
	来年度	なし
その他		

茅ヶ崎市・寒川町広域連携事業 平成26年度事業報告書

事務事業名		1-8 (仮称) 河童徳利公園整備に関する取組
担当課	茅ヶ崎市	広域事業政策課、公園緑地課
	寒川町	都市計画課
今年度の取組概要		公園の整備主体や土地の使用形態、借地料、税金の減免等の課題について、協議調整を行う。
上半期の取組		<ul style="list-style-type: none"> ・分科会を開催し、公園整備に伴う市町の課題等を検討(5月30日) ・寒川町との課題解消にむけ、整備手法や契約形態、茅ヶ崎市及び寒川町それぞれの方式による賃貸借料や減免額等を算出するなど茅ヶ崎市として寒川町への提案資料を作成(6月～9月)
下半期の取組		<p>下半期は分科会を開催し、茅ヶ崎市としての考え方を提案し、今後の整備にむけた一定の方向付けを行うとともに、地権者や近隣住民に対して昨年度作成した公園のイメージ図を提示、説明を行う。(10月～12月)</p> <p>12月16日、地権者及び整備予定地隣接住民に対し、説明を行い概ね理解をいただいた。</p>
現状の取組	効果	行政界を跨ぐことで生じる整備手法や財政面等の課題を解消することにより、今後の整備にむけたより具体的な検討への道すじを作ることができる。
	課題	整備に係る費用や地権者への賃貸借料等財政面における市町の費用負担割合をどのようにするのが課題である。
来年度の取組		本市における関係機関等との協議、調整事項等について情報提供するなど、進捗状況について情報の共有化を図るとともに、次年度の予算を含めた事業計画の検討や用地の考え方に基づく地権者への用地交渉等も行う。
事業費	今年度	なし
	来年度	なし
その他		別紙「(仮称) 河童徳利広場イメージ図」

茅ヶ崎市・寒川町広域連携事業 平成26年度事業報告書

事務事業名		1-9 ツイッターの共同活用、ホームページへのバナー相互掲載等情報発信力の強化
担当課	茅ヶ崎市	企画部秘書広報課
	寒川町	企画政策部企画政策課
今年度の取組概要		<ul style="list-style-type: none"> ・市町それぞれの公式ホームページのトップページに掲載する市町それぞれのバナーを作成し、位置設定を検討し、掲載する。 ・ツイッターを共同活用し、情報を提供する。 ・報道機関と連携した取組についての事業手法及び運営方法を検討する。 ・定例の記者発表等を検討する。
上半期の取組		<ul style="list-style-type: none"> ・市町それぞれのバナーではなく広域連携の共通バナーを作成し、トップページでの位置設定を調整して市町それぞれの公式ホームページに掲載(3月24日) ・第1回広報分科会を茅ヶ崎市役所で開催し、ツイッターの共同活用、報道機関と連携した取組についての事業手法及び運営方法、定例の記者発表等について検討(4月18日) ・市町それぞれのツイッターの運用を調整し、1市1町共通アカウントではなく、それぞれのツイートをツイートする方法でツイッターの共同活用による情報発信を開始(7月1日)
下半期の取組		<ul style="list-style-type: none"> ・上半期に引き続き、ツイッターの共同活用による情報発信を行う。 ・上半期に引き続き、報道機関と連携した取組についての事業手法及び運営方法を検討する。 ・上半期に引き続き、定例の記者発表等について検討する。
現状の取組	効果	<ul style="list-style-type: none"> ・共通バナーを市町それぞれ公式ホームページのトップページの見やすい位置に掲載したことで、情報を市町それぞれの住民に周知することができた。 ・イベント情報をツイッター上で共有することで、市町それぞれの住民に情報発信することができた。また市町それぞれのツイッターのフォロワー数も増加した。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・報道機関と連携した取組についての事業手法及び運営方法の検討、定例の記者発表等の検討について、報道機関等と協議を行う必要がある。
来年度の取組		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度に引き続き、報道機関と連携した取組についての事業手法や運営方法を検討する。 ・今年度に引き続き、定例の記者発表等について検討する。
事業費	今年度	なし
	来年度	なし
その他		

茅ヶ崎市・寒川町広域連携事業 平成26年度事業報告書

事務事業名		1-10 JR 相模線を活用した広報活動
担当課	茅ヶ崎市	企画部秘書広報課
	寒川町	企画政策部企画政策課
今年度の取組概要		<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報紙を増刷して、市町それぞれの広報紙を茅ヶ崎駅・寒川駅に配架する ・ 合同ポスターの作成について、関係者による協議、作成準備をする。 ・ 中吊り広告について、関係者と協議する。
上半期の取組		<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回広報分科会を茅ヶ崎市役所で開催し、広報紙の配架、合同ポスターの作成、中吊り広告について検討(4月18日) ・ 市町それぞれの広報紙5月1日号から既設の配架棚を使用して茅ヶ崎駅、寒川駅に配架(4月28日)
下半期の取組		<ul style="list-style-type: none"> ・ 上半期に引き続き、市町それぞれの広報紙を配架するとともに、配架部数を検討する。 ・ 合同ポスターの作成・中吊り広告について、作成方法や費用等を検討し、関係機関と調整しながら調査研究を行う。
現状の取組	効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報紙を茅ヶ崎駅、寒川駅に配架したことで、それぞれの住民だけでなく、鉄道利用者にも情報発信することができた。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合同ポスターの作成、中吊り広告について、管轄であるJR東日本横浜支社やJR相模線沿線の自治体と協議を行う必要がある。
来年度の取組		<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報分科会において、合同ポスターや中吊り広告の内容について検討した結果、その内容は、茅ヶ崎市・寒川町広域連携事業に関係するものが望ましいという結論に至った。来年度は、合同ポスター・中吊り広告の作成、掲出について、各分科会等の動きを注視しながら、必要な調査検討に取り組む。
事業費	今年度	なし
	来年度	未定
その他		

茅ヶ崎市・寒川町広域連携事業 平成26年度事業報告書

事務事業名		2-1 広域連携制度に関する調査研究
担当課	茅ヶ崎市	企画経営課、広域事業政策課
	寒川町	企画政策課
今年度の取組概要		機関等の共同設置について、調査研究を行う機関等を選定し関係部局と連携しながら調査研究を行う。
上半期の取組		<ul style="list-style-type: none"> ・分科会を開催し、調査研究の対象の選定方法を検討（7月30日） ・機関等の共同設置の可能性について、全庁的なアンケート調査及び対象となる可能性のある機関等に対し基礎情報調査を実施。 ・調査研究を行う対象として「監査事務局」、「消防本部」、「消費生活センター」を選定。
下半期の取組		<ul style="list-style-type: none"> ・選定した機関等について優先順位を付けたうえで担当部局を交えた調査研究を開始（11月～3月） ・次年度以降の方向性を決定し検討会議に報告(3月)
状の取組	効果	・機関の共同設置の調査研究に向けて調査を行ったことで各担当課の現状及び他市町村の先進的な取組等を把握することができた。
	課題	・特になし
来年度の取組		・今年度に引き続き「勉強会・先進都市の研究等」及び「関係部局との調整」を行うとともに、下半期で「調査研究状況のとりまとめ」を行う。
事業費	今年度	なし
	来年度	未定 ・想定される経費としては、勉強会開催に伴う講師謝礼(1回7万円×実施回数/地域別研修助成金の活用を検討)
その他		

茅ヶ崎市・寒川町広域連携事業 平成26年度事業報告書

事務事業名		3-1 職員の人事交流の実施
担当課	茅ヶ崎市	総務部職員課
	寒川町	総務部総務課
今年度の取組概要		消防職員1名を含む4名の職員を相互に派遣して人事交流を行う。
上半期の取組		企画、産業振興、環境及び消防の各分野1名ずつ交流を行っている。
現状の取組	効果	職員の交流を通じた相互理解が進み、今後の更なる交流の礎となることが期待されている。
	課題	交流する職員の数について、見込まれる効果と組織としての負担等を考慮しながら再度検討する必要がある。
下半期の取組		<ul style="list-style-type: none"> 引き続き人事交流を行う。 来年度派遣について、派遣規模及び交流を行う部署について協議を行った結果、今年度の取組を継続することとなっている。
来年度の取組		引き続き人事交流を行う。
事業費	今年度	なし
	来年度	なし
その他		

茅ヶ崎市・寒川町広域連携事業 平成26年度事業報告書

事務事業名		3-2 職員合同研修の実施
担当課	茅ヶ崎市	総務部職員課
	寒川町	総務部総務課
今年度の取組概要		1市1町の共通課題をテーマとし、具体的な政策課題等について合同研修を実施する。
上半期の取組		中堅職員（27人）を対象に相模女子大学人間社会学部松下啓一教授を講師に迎え、5日間の合同研修を実施するための調整を進めた。
現状の取組	効果	研修を通じ、共通の課題を解決するプロセスや問題をとらえる力を養うことで、職員相互の交流を深め、広域的な視点や業務遂行能力の向上を図る。
	課題	研修として受講者が共通認識を持って臨むことができる共通課題の抽出が必要である。
下半期の取組		平成26年11月4日（火）・18日（火）・12月12日（金）・平成27年1月9日（金）・1月28日（水）の5日間、茅ヶ崎市役所研修室にて合同研修を実施した。また、最終日には発表会を行い、関係課かいの職員が聴講し、コメント等をいただく機会を作った。
来年度の取組		「事業提案」だけでなく、「政策提案」にもつながるようなテーマの検討を行い、5日間の合同研修を通し、双方の職員の資質向上に向けた研修を行っていく。
事業費	今年度	公益財団法人神奈川県市町村振興協会研修センター「地域別研修助成金」を活用した。 講師謝礼：425,864円 内訳 謝礼 425,000円 振込手数料 864円
	来年度	公益財団法人神奈川県市町村振興協会「地域別研修助成金」を活用する
その他		

茅ヶ崎市・寒川町広域連携事業 平成26年度事業報告書

事務事業名		3-3 福利厚生事業の合同実施
担当課	茅ヶ崎市	総務部職員課
	寒川町	総務部総務課
今年度の取組概要		各互助会が独自で実施している釣り事業を共同開催する。
上半期の取組		6月14日に共同で釣り事業を実施した。
現状の取組	効果	職員の親交を深めることができ、今後の更なる交流の礎となることが期待される。
	課題	釣り事業は、天候によっては実施不可能な場合もあるため、悪天候の場合に代替りの事業を実施するか検討する必要がある。
下半期の取組		今年度開催した釣り事業の検証と来年度へ向けた共同事業について検討する。
来年度の取組		来年度は、寒川町が主体となって福利厚生事業の合同実施を行う予定。
事業費	今年度	総支払額：563,386円 内訳 茅ヶ崎市負担金：250,146円 寒川町負担金：78,240円 参加者負担金：235,000円
	来年度	来年度の実施主体は寒川町となり、現在、寒川町においてはスポーツイベントの方向で検討している状況である。寒川町での事業の決定については来年度5月頃の予定のため、事業費を見込むことができない。
その他		

茅ヶ崎市・寒川町広域連携事業 平成26年度事業報告書

事務事業名		3-4 教職員の人事交流の実施
担当課	茅ヶ崎市	学務課
	寒川町	学校教育課
今年度の取組概要		1市1町の枠組みでの小学校・中学校の教職員人事交流の充実
上半期の取組		<ul style="list-style-type: none"> ・分科会を開催し、人事交流に向けての課題等の検討を行うと共に、「茅ヶ崎市・寒川町公立小中学校教諭等の人事交流についての覚書(案)」を検討(6月19日) ・分科会を開催し、引き続き「茅ヶ崎市・寒川町公立小中学校教諭等の人事交流についての覚書(案)」を検討(7月1日) ・「茅ヶ崎市・寒川町公立小中学校教諭等の人事交流についての覚書(案)」について、茅ヶ崎市、寒川町それぞれの教育長へ説明を実施(6～7月)
下半期の取組		<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度の人事交流の実施に向けて、必要となる事項の調整の実施 1 県教育委員会(湘南三浦教育事務所)への説明を実施(7月29日) 2 教職員団体との調整(10月9日) 3 分科会を開催し「覚書」を「申し合わせ」に名称変更し、案文の検討を実施(12月17日) ・両市町の首長及び教育長の承認を経て最終決定とする。
現状の取組	効果	・茅ヶ崎市、寒川町それぞれにおける特色ある教育を学び、取り入れることで教職員の資質が向上し、1市1町の児童・生徒の学力向上が図られる。
	課題	・中学校における人事交流では、担当教科を一致させる必要があるため、実施段階での丁寧な調整が必要となる。
来年度 の取組		人事交流の実施。
事業費	今年度	なし
	来年度	なし
その他		